



活性炭はどうして水をきれいにするの

活性炭は物を吸着するはたらきが大きい

活性炭は特別につくられた、内部にたくさんの小さいあながある炭で、いろいろな物を吸着する（すいつける）はたらきがあります。

活性炭の内部には、たくさんのあなのあいたすきまがあり、表面積が非常に大きくなっています。木炭は1グラムについて、表面積が400平方メートルあるのに対して、活性炭は、1000～1500平方メートルもあります。

このように、活性炭は表面積が大きいので、木炭よりも、よく物を吸着します。活性炭は、水の中にふくまれている、いろいろな物のつぶをよく吸着して、水をきれいにするはたらきがあります。

活性炭の原料と利用法

活性炭の原料になるものは、木材、ヤシの実のから、牛の骨、血液、でい炭、かつ炭などがあります。

活性炭は、水道の水をきれいにしたり、下水のよごれを取りのぞいたりするのに利用されています。このほか、活性炭は、水や空気中のいろいろな物の色や、においを取りのぞくはたらきがあるので、だっ色・だっしゅう剤として利用されています。

（監修・小川 格）

